

医療安全に専門性を有する医師人材養成および医療機関のリスク量測定に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

最高質安全責任者養成研修受講生及び受講生が所属する医療機関

2. 研究目的・方法・研究期間

平成 27・28 年度の厚生労働科学研究「医療安全管理部門への医師の関与と医療安全体制向上に関する研究」において、医療機関に求められる平時・有事を含めた医療安全業務の全体像をシェーマに表すとともに、全国 7582 病院を対象に、業務の達成状況などについてアンケート調査を行った。その結果、医療安全推進に、特に専従・専任医師の配置が大きく貢献する可能性があること、医師安全管理者の教育プログラムの整備を行い、適切な人材養成を図るとともに、多くの医療機関で、医師が中～長期的に医療安全活動に関与し続けられるような支援体制を導入することが望ましいことを提言した。また、平成 26 年～30 年、文部科学省課題解決型人材養成補助金事業「明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム（ASUISHI）」（140 時間）を実施、トヨタ自動車、中部品質管理協会とタイアップして、医療安全・感染対策・品質管理に専門性を有する医師を養成、4 年間で全国に 89 名の修了生を輩出した。さらに平成 30 年度・令和元年度の厚生労働科学研究「医療安全管理体制の可視化と人材育成のための研究」において、同プログラムを改訂した「最高質安全責任者（CQSO）養成プログラム」（150 時間）を実施、また、機械学習技術を用いてインシデント情報を分析することにより、医療組織が抱えるリスクを数値化し、定量的に評価する方法を開発した。この組み合わせにより、医療機関ごとのリスクや、経年変化、教育プログラムの効果などを数値評価し、優れた安全管理者に特有の要素の分析・特定を行った。今後、（1）専従医師養成による医療安全の向上、（2）成果を出せる人材に特徴的な要素の特定・教育プログラムの改定、（3）さらに精度の高いリスク評価手法の開発、が期待される。本研究では、これまでの研究をさらに発展させ、①CQSO 養成プログラムの改定と研修の実施・中長期的支援、②医療機関のリスク低減への効果測定、③成果を出した医師のコンピテンシーおよび有用であった教育コンテンツの特定、を進める。並行して、④リスク評価技術のさらなる精度向上（計算式の多様化、データ収集、リスク原因の特定）に取り組む。

研究期間：実施承認日～2022 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

受講生の受講前後での各種アンケート、受講生の所属医療機関に関するアンケート及びインシデントレポートから算出されるリスク量

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関を含め外部には個人情報を開示しません。

個人情報を匿名化した上で共同研究施設との会合または各種学会において研究成果を公表することがあります。

5. 研究組織

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・教授・長尾能雅

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・講師・深見達弥

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・助教・梅村朋

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・助教・植村政和

東京医科歯科大学・教授・大川淳

自治医科大学医学部・教授・遠山信幸

北海道大学病院・教授・南須原康行

三重大学医学部附属病院・教授・兼児敏浩

東京医科大学医学部・准教授・浦松雅史

名城大学薬学部・准教授・田辺公一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて受講生もしくは受講生の所属医療機関にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受講生に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号：052-744-2940 FAX 番号：05744-2940

e-mail：muemura@med.nagoya-u.ac.jp

担当：植村政和

研究責任者：

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・教授・長尾能雅

研究代表者：

東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部・教授・長尾能雅